

Canvas LMS 導入

1. 概要

2021 年度第 8 回教育改革推進会議における「次期 LMS の選定」の承認を踏まえ、Canvas LMS の導入作業ならびに運用支援を実施した。

2022 年度春学期は、Canvas LMS の運用設計と教務をはじめとする外部システムとの連携機能の開発・実装を行った。

2022 年度秋学期では、任意の科目（63 科目）による先行運用を開始した。

2. 導入の進め方

運用開始に向けたシステム導入のプロジェクト管理を行い、運用ルールや手順の確立については、関係する組織・会議体と連携して進めた。また、教育的効果を高めることを目的として、デモ環境での操作検証や一部の科目による先行運用を実施し、具体的な利用手順の確認等を継続的に実施し、活用を促進した。

(1). Canvas LMS 検証作業

期間：2022 年 7 月～2022 年 9 月

概要：デモ環境における検証作業

手順：情報企画室を中心に、メディアセンターおよび大学教育開発・支援センター等の協力を得て、デモ環境で自由に操作を行い、利用方法を検証する。

具体的な授業運営を想定したコースを作成し、モデルコースの作成や作成時の分かり難い操作等の留意点を整理し、マニュアル等に反映する。

環境：デモ環境にて Canvas LMS の標準機能を使用し、検証用の科目・学生の履修情報を用いて実施する。

OS やブラウザのサポート期限、脆弱性対応などへの対応として、システム改修などを含めた、情報基盤・システムの運用とサポートを実施する。

情報セキュリティリスクに対応する、ネットワークセキュリティ、ならびに、エンドポイントセキュリティの拡充と利用者支援を実施する。

(2). Canvas LMS 先行科目での運用

期間：2022年9月～2023年3月

概要：本番環境における先行科目での運用

手順：任意の教員が特定の科目にて、実際に授業で利用する。正規の科目情報と履修学生を登録し、実際に授業での運用を行う。本格運用に向けた、運用モデルの構築、移行手順、課題点等の整理を行い、マニュアル等への反映やFD講習会のコンテンツを作成する。

環境：正規の科目・学生の履修情報を用いて実施し、該当科目の学生も利用する。標準機能以外（出席管理など）の一部の機能は実装されない。

基本的な機能に関するマニュアル等を整備し、メディアセンターでの支援も実施するが、学生の習熟を考慮して、十分に情報伝達・指示が可能な授業での運用を行う。

(3). Canvas LMS 全面運用（並行運用）【予定】

期間：2023年4月～2024年3月

概要：本番環境における全科目（Blackboard との並行）運用

手順：すべての科目情報と履修学生を登録し、授業運営で利用する。Blackboard との並行運用として、利用するLMSを選択して運用する。

環境：すべての科目・学生の履修情報が反映され、教員の任意で運用を行う。

出席管理機能などを含め、現行同等の機能が実装される。マニュアル等を整備し、Blackboard と同様にメディアセンターでの支援を行う。あわせて、全学対象の操作説明会、FD講習会などを実施し、広く教員が利用可能となるよう支援を行う。

3. 今後のスケジュール

Blackboard と立教時間を含めた運用スケジュールの想定は以下のとおり。

	2022年度	2023年度	2024年度
Canvas LMS	先行運用	並行運用	全面運用
Blackboard			✕ 提供終了
立教時間 (授業利用)			Canvas LMSへ 運用を移行